

事業名 仙台市彫刻のあるまちづくり事業

彫刻家が設置場所にふさわしい作品を制作する現地オーダーメイド方式により、街の緑のなかに彫刻を設置し、芸術性豊かで文化の薫るまちづくりを推進し、都市空間に調和した彫刻設置方法として全国的に高く評価されている事業

受賞機関 仙台市建設局
百年の杜推進部緑化推進課
事業実施期間 昭和52年4月1日～平成13年3月31日
事業費 850百万円

事業等の特徴

街の緑の中に彫刻を設置し、芸術性豊かな街づくりを推進しており、地域住民の評価は高い。平成8年度より、彫刻を鑑賞する「杜の都の彫刻めぐり」（5コース：1バスコース（定員40名）、4徒歩コース（定員各20名））を実施しているが、毎年定員を超える応募がある。参加者からは、街中に質の高い彫刻作品が周囲の環境に調和して置かれていることを賞賛する意見が多く、利用者に好評である。

また、平成12年度より、彫刻の洗浄等の維持管理やガイド、広報活動を行うボランティア団体が結成され、積極的な活動が行われている。

事業の概要と利用者等の評価

本事業は、昭和52年度に市政施行88周年を記念して開始し、街の緑の空間に彫刻を配置し、芸術性豊かで文化の薫るまちづくりを推進してきた。これまでに、1年に1作品ずつ、第1期12作品、第2期11作品を設置し、平成13年3月21日には、24番目の最終作品を除幕し、24年間にわたり継続してきた事業が完了となる。

事業の特徴は、仙台市彫刻のあるまちづくり委員会の審議報告に基づいて、設置場所とその場所にふさわしい作風の作家を選定し、作家が現地を視察してから制作するという現地オーダーメイド方式により彫刻を設置している。この設置方法は、都市空間に調和した方法として、「仙台方式」と呼ばれ、全国の多くの自治体の参考となり、高い評価を得てきた。

設置した作品は、身近な芸術作品として学校教育や生涯学習にも活用され、杜の都仙台を代表する景観として文化都市仙台の象徴ともなり、市民に親しまれている。

計画の評価 長期計画により、1年に1作品ずつ委員会の審議を経て、設置場所及び作家を選定して



第6作品「風の音」野草園 杜の都彫刻めぐり

きたことで、環境に調和した質の高い作品を設置することができた。

事業完了後の評価 平成10年度から3箇年計画で、良好な状態で設置作品の維持管理を図るため、作品の保存調査と汚れの甚だしい作品については、保存処置を実施した。

評価の把握 本事業の市民への広報を図るため、毎年10月に彫刻を鑑賞する「杜の都の彫刻めぐり」を開催、作品の設置場所の地域ごとに、バスめぐりと徒歩めぐりを実施してきた。毎回定員を超える応募があり、毎年延べ200名の市民の参加を得ている。参加者にアンケートを実施しており、芸術作品を気軽に鑑賞できることが好評を得ている要因のひとつである。また、小中学校の総合学習などで、街のなかの彫刻を取り上げて、調査する児童生徒も多く、電話取材など校外学習にも活用されている。

事業完了を前にして、平成12年10月に、設置作品の維持管理についても、市民と行政が協力していくことを目的に「彫刻ボランティア養成講座」を開催、「彫刻のあるまちづくり応援隊」が組織された。応援隊は、彫刻の洗浄と杜の都の彫刻めぐりのガイドのボランティアで、学習会を開催し次年度からの活動に備えている。

審査委員会委員の意見等

- ・オーダーメイド方式という着想のユニークさと、彫刻鑑賞による作品と環境の調和の発見による市民の空間イメージ力のアップに寄与していることが評価できる。
- ・設置だけでなく、その後のまちづくりを目的とした様々の活動が評価できる。
- ・日本の街の中に欠けている「芸術性」「美」に着目し、オーダーメイド方式で都市空間に調和させた点を評価したい。
- ・現地オーダーメイド方式、維持・広報ボランティアなど「彫刻まちづくり」の優等生である。
- ・昭和52年度にスタートし24年間で24作品と息の長い事業であることや、本事業が採用した現地オーダーメイドシステムは事業実施者側の本事業にかける熱意・意気込みが伝わり評価できる。